2022年6月1日発行(毎月1回1日発行)

DOYU さいたま

同友会の三つの目的／よい会社　よい経営者　よい経営環境をめざす

太田久年 代表理事

記念講演講師 森 俊彦氏

小松君恵 代表理事

中同協定時総会
宇梶純江実行委員長・小松和人実行委員長

司会 金子 章氏（北部地区会）

埼玉中小企業家同友会第49回定時総会が、4月23日（土）にオンラインにて開催されました。
当日は、議案審議のほかに、来年開催予定の「中小企業家同友会全国協議会定時総会IN埼玉」の実行委員長挨拶や、現在策定中の10年ビジョンについての取り組み報告なども行われ、埼玉同友会の今後に向けて、重要な1年になる2022年度のスタートとなりました。

(P2へ続く)

2022-6 JUN
VOL.529 毎月1日発行

特集
埼玉中小企業家同友会　第49回定時総会
記念講演概要報告『地域金融の未来』
～金融機関・経営者・認定支援機関による価値共創～
講師：森 俊彦氏

https://www.saitama.doyu.jp

社長の学校®

埼玉中小企業家同友会 第49回定時総会を開催　設営：北部地区会

今こそ本質を見極め「人を生かす経営」の総合実践を
～企業づくり・地域づくり・仲間づくりで力の湧く同友会活動を～

2022年4月23日に 第49回定時総会が行われました。昨年同様のコロナ禍での開催となり、リモートによる同時配信による進行で行われました。

太田久年代表理事、小松君恵代表理事からは、厳しい経営環境下での連帯の必要性や、それを踏まえた組織強化への強い決意が、組織強化支援室などの取り組みとともに語られました。

大野元裕埼玉県知事、清水勇人さいたま市長からはビデオメッセージが寄せられ、中小企業政策や同友会への期待のお言葉をいただきました。

議案については、すべて承認となり、埼玉同友会の2022年度がスタートしました。

（2022年度役員についてはP4に記載）

第2部の記念講演の概要を下記にご紹介します。

地域金融の未来 書籍の表紙
記念講演内容にリンクする森氏著書の「地域金融の未来」中央経済社

【記念講演テーマ】

『地域金融の未来』
～金融機関・経営者・認定支援機関による価値共創～

記念講演講師：森 俊彦氏
〈一般社団法人日本金融人材育成協会会長〉

伝えたい3つのポイント

皆さんこんにちは。記念講演でお話しできることに感謝しております。

最初に結論を3つあげます。

1点目は、政府の中小企業支援の考え方と施策です。中小企業は日本経済の屋台骨です。中小企業が元気で笑顔じゃないといけない。これが、皆さんご存じの、政府が閣議決定した中小企業憲章に明記されています。

2点目は、皆さんは事業についてはプロですが、その事業を回し発展させていくには金融リテラシーが不可欠です。中小企業にとってお金は血流でして絶対必要です。全国の金融機関を監督している金融庁の考えの骨太部分をしっかり理解しておくことが不可欠です。

第3点ですが、経営指針は最重要です。同時にその社内・社外への情報発信力を高めることが極めて大切です。皆さんの事業の存在価値は、「商品やサービスの購入者が価値を認めている」という意味で“強み”そのものですし、事業を通じて世の中のお役に立つということはSDGsそのものです。その皆さんの存在価値を生み出す根源こそが経営指針です。「自らがなぜ存在しているのか」の基軸をハッキリと経営指針に明文化し、その存在価値を国が作った共通言語であるローカルベンチマーク（以下、ロカベン）と経営デザインシートによって、社内と社外に情報発信していく。皆さんの事業の存続発展は揺るぎないものとなります。

金融検査マニュアルの時代から共通価値の創造へ

1990年台に入って日本経済はバブル崩壊し、1999年、日本銀行はゼロ金利政策をスタートしました。日銀は金融機関にゼロ金利で大量の資金供給を行い、その先の中小企業にはできるだけ低い金利でお貸しするようにということであったわけです。同じく1999年、不良債権の早期処理のために金融検査マニュアルが金融庁から公表されました。これにより、不良債権処理は進みましたが、融資の際に、不動産担保や経営者保証、信用保証協会の保証に過度に依存するなどの副作用がもたらされました。

金融庁は2019年に金融検査マニュアルを廃止しました。その意味するところは、「金融機関が向き合うべきは、検査マニュアルではなく、まずは企業経営者である」ということです。全国の企業数359万社のうち99.7%は中小企業で雇用の7割を支えており、中小企業は国の屋台骨です。金融機関が中小企業に伴走して生産性向上、つまりキャッシュを生む力が改善すれば、経営者や従業員の年収などがプラスになり、結果、金融機関の営業基盤もしっかりして、地域経済エコシステムの“好循環のループ”が実現します。そこに金融機関は使命をもって取り組むのだということを、銀行法第1条に「国民経済の健全な発展に資することを目的とする」と明記してあるのです。

金融機関から中小企業への伴走支援型融資という言葉はキーワードです。これは決算書などの数値判断のみならず、事業をしっかり理解した上で、融資や本業支援をするということです。例えばコロナで仕入れ先が経営破綻しそうだ、というような場合に、銀行がすぐにビジネスマッチングをサポートできるよう日頃からの事業の理解が不可欠です。これによって、中小企業の営業キャッシュを生む力が継続的に改善されます。

私がよく言うのは、経営者の3条件、①誠実②やる気③キラリと光るものがあるのです。3条件の経営者であれば、赤字や債務超過でもキラリと光る事業や商材など将来キャッシュフローを生み出すものがありますので、金融機関が伴走支援型融資で徹底支援をすることで、営業キャッシュフローが改善する。そうなると、金融機関にとっては、積み立てていた引当金を取り崩すことができ、自らの収益の改善に直結します。また、「キャッシュフローがよくなったので、事業の発展のために3Dプリンタを買いたい」と新たな設備投資が生まれます。つまり、資金需要がないという銀行がありますが、あるべき金融機関の姿としては、伴走支援型融資によって新たな資金需要を生み出すということです。金融庁は地域経済エコシステムの“好循環のループ”を実現していこうとしていることをご理解いただければと思います。

私が関わっている金融機関では、赤字や債務超過でも3条件の経営者には徹底的に伴走し、経営改善した事例が幾つもございます。同友会は、企業変革プログラムやビジョン作成などにも取り組んでいますので、3条件の経営者が集まっている団体であると受け止めています。同友会の皆さまは金融機関とともに共通価値の創造ができるはずです。

中小企業の見える化と見せる化

共通価値の創造については10年ほど前、ハーバード大学のマイケル・ポーター教授が「Creating Shared Value」（クリエイティング・シェアード・バリュー）を提唱したことで世に広まりました。生み出した価値を分かち合う、大乗仏教の自利利他にも通じます。これは同友会の理念、中小企業憲章そのものではないかと思います。中小企業憲章の「行動指針」は8項目ありますが、本日のテーマは第6「中小企業向けの金融を円滑化する」です。

2017年に未来投資会議※で提言し、今でもこれを徹底的にやることに尽きると思っているものに、中小企業の事業の「見える化」「見せる化」の推進があります。これができるとバイヤーや金融機関との共通価値の創造によって地域経済の好循環が実現します。そのときに共通言語のロカベンや経営デザインシートというツールを使いましょうということです。中小企業経営者は自社の商品やサービスの価値を十分に表現できていない場合があります。そこで価値の「見える化」をスタッフの方々や、時には税理士や金融機関等の方々を巻き込み一緒につくることで、より価値あるものにしていきましょうということです。

誠実でやる気がありキラッと光る中小企業は、不良債権予備軍ではなく、成長予備軍なのだと認識し、地域金融機関が伴走支援することで、地域の創生につながります。金融機関もHPでどのように顧客に伴走しているかを開示しています。経営者サイドも金融機関サイドも互いに情報発信することで、平時からの信頼関係が築けるのです。

※内閣総理大臣を議長として、国の経済成長につながる分野における投資活動について議論する場

好循環ループの『即実践』を!

中小企業庁のアンケートによると、後継者の選定が十分できていないとの理由で中小企業の3分の1が廃業予備軍と報道されました。黒字企業に対しては、特例事業承継税制などを設けて政府も手を打っています。問題は7割の赤字企業で、債務保証の引継ぎが課題となっています。この課題解決には、「育てる金融」（伴走支援型融資）が不可欠です。経営者保証に依存しない3要件が大事です。①法人と経営者との関係の明確な区分・分離②財務基盤の強化③適時適切な情報開示ですが、この3つが今できていなくても、税理士の方とも相談しながら、金融機関とも連携して進めていってほしいと思います。

中小企業では正常運転資金を証書借り入れしている場合が非常に多いです。証書借り入れになると毎月返済しないといけませんが、当座貸越にすれば、例えば1000万円の極度枠の中で、借入や返済が自由で事実上の自己資本です。正常運転資金は当座貸越にして、設備資金や建屋は証書借り入れが原則です。中小企業は過剰な返済負担を背負ってしまっている場合が多いです。皆さんの金融リテラシーを高めることが大変大事なのです。

ロカベンと経営デザインシートは、皆さんが取り組んでいる「経営指針成文化と実践の手引き」「企業変革プログラムⅠ・Ⅱ」と親和性が高いです。補助金や助成金の申請には、ロカベンや経営デザインシートの活用が推奨されています。

ロカベンは、経営の現状の健康診断ツールです。また、経営デザインシートは、自社の存在意義を踏まえた上でありたい未来を描き、未来からバックキャストして考え、そこに向けて何をすべきかの戦略を策定するツールです。この2つのツールを一番活用しやすいのが、経営指針作成に取り組んでいる同友会の皆さんです。これらを活用することで、金融機関も動きやすくなります。経営デザインシートの参考事例として添付した、埼玉の大和合金（株）の資料は首相官邸HPにアップされていますのでぜひご覧ください。

最後に皆さん、中小企業憲章・条例が羅針盤となって、中小企業、金融機関の総力が結集し、地域経済エコシステムの「好循環ループ」を実現する国民運動を進めるよう、『即実践』と書き込んでください!ご清聴いただきありがとうございました。

（事務局：古川佳子 記）

講演終了後の一コマ（前列中央が森氏）

埼玉中小企業家同友会 第49回定時総会 功労表彰者 一覧（順不同・敬称略）

【感謝状】役員退任者

◆副代表理事	折原昌司
◆地区会長	
西部地区会	木下　恒
むさし野地区会	江崎浩史
東部地区会	上野広美
中部地区会	山﨑一樹
北部地区会	小林秀行
川越地区会	土橋智恵
彩北地区会	折原昌司
東彩地区会	永井義昭

◆委員長	
経営労働委員会	満生 剛
障害者雇用推進委員会	谷田 正樹
女性経営者クラブ・ファム	宇梶 純江
青年部	星山 忠俊

特別功労賞

◆障害者問題全国交流会

実行委員長　横山 由紀子

◆会員拡大　〈新会員をご紹介いただいた会員の皆様〉

植竹知子（さくら地区会）・・・・・・・・・・・５名
福井千波（川口地区会）・・・・・・・・・・・・４名
小松君恵（川口地区会）・・・・・・・・・・・・３名
木下　恒（西部地区会）・・・・・・・・・・・・３名

埼玉中小企業家同友会 2022年度役員名簿

【地区会推薦理事】　◇は地区会長予定者

川口	◇中根幹雄	福井千波
戸田・蕨	◇小山展弘	山下太一
浦和	◇後藤真吾	小杉英介
大宮東	◇薊喜美雄	佐藤　秀
大宮中央	◇和泉紀子	鈴木光義
大宮南	◇清水小百里	上坂　理
西部	◇鴨井誉史	落合裕樹
むさし野	◇日高香苗	江崎浩史
東部	◇沓沢隆行	藤森正信
中部	◇満生　剛	山﨑一樹
埼葛	◇菅野泰孝	水野浩美
北部	◇政裕美子	小林秀行
さくら	◇吉田祐史	鈴木和宏
川越	◇下村信子	土橋智恵
東彩	◇五十嵐洋子	林　栄治
彩北	◇卯都木克有	—

【委員長(理事)】

政策	米山正樹
経営労働	小松和人
社員教育	髙橋浩一
仕事づくり	菅野広治
青年部	中川怜子
広報情報化	齊藤壽和
共同求人	山本成年
障害者雇用推進	関根健一
女性経営者クラブ・ファム	菊永良枝

【正副代表理事】

代表理事	太田久年・小松君恵
副代表理事	植竹知子・奥津雅史・金子弘行
	菊永良枝・髙橋浩一・横山由紀子
	吉田雄亮・米山正樹

【正副代表理事会議推薦理事】

新井俊雄・小林聡一・髙橋正哲・宇梶純江・久賀きよ江

【会長理事】

久賀きよ江

【相談役理事】

木下信次

【相談役】

切山英彦・野口喜介

【監事】

高橋尚樹・沼田道孝

【中同協役員】

幹事：太田久年・小松君恵　（県選出）
幹事：久賀きよ江・沼田道孝
監事：新井俊雄（中同協選出）

【事務局長理事】

清水信彰

埼玉中小企業家同友会は『今こそ本質を見極め「人を生かす経営」の総合実践を』をスローガンに掲げ、2022年度の活動をスタートしました。埼玉同友会を牽引する、10名の正副代表理事に展望と意気込みを語っていただきました。

『代表理事あいさつ』

即　実践

代表理事
太田久年

2022年度の代表理事を仰せつかりました東彩地区の太田久年です。今期で5年目となります。どうぞよろしくお願いします。

2021年度は、新型コロナウィルスの感染拡大に加え、中小企業経営者の経営環境や国民生活に影響を及ぼす様々な出来事が国内外で起こりました。厳しい経営環境の中、私達埼玉同友会は、社員や取引先、そのご家族の健康と安全を守りながら、事業継続に全力を尽くしております。会員各位のご理解とご協力に心から感謝申し上げます。

埼玉同友会は、来年設立50周年を迎えます。これまで積み重ねてきた先輩達の知識と経験を生かしながら、新しい時代を展望する大事な1年となります。

自社と地域、そして同友会の価値ある未来について、長期的なビジョンを掲げ、多くの仲間とともに経営課題に立ち向かって参りましょう。

原材料の価格高騰や諸制度改変など、1社では解決できない社会･経済･政治的な環境を改善するためには、多くの中小企業家の「声」が必要となります。私は、経営者が連帯して経営環境の改善に取り組み、社員やその家族の生活を守り、持続可能な地域づくりを目指すことこそ「人を生かす経営」の総合実践であると考えています。

来年は、中小企業家同友会全国協議会主催の第55回定時総会が埼玉県で開催されます。総会設営を通して企業づくり、地域づくりを進め、大勢の仲間と共に学びを深めるとともに、全国の中小企業家の皆様をお迎えしたいと思います。

今年度も活動方針の「人を生かす経営」の総合実践を通して、行政や教育機関、金融機関、他の経済団体とも連携し、日本経済の自主的･平和的な繁栄を目指す運動の先頭に立つ覚悟でおります。皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

地域経営環境向上運動と「仲間づくりで力が湧く同友会活動」

代表理事
小松君恵

来年の設立50周年に向けて、NEXT埼玉経営環境向上のために何ができるのか?何を為さなければならないか?共創し、実装していく年になると思っています。中小企業家同友会の3つの目的にもある「よい経営環境をつくろう」では、「他の中小企業団体とも連携して、中小企業をとりまく、社会･経済･政治的な環境を改善し(略)」と掲げられています。私たちは、主として個々の経営努力によって企業の未来を切りひらいていきますが、このコロナ禍、困難な世界経済情勢下では、各企業の経営努力だけでは解決できない、困難な課題がたくさん湧き出てきます。

この度、埼玉県と県内経済6団体連携で「子どもたちの支援に関する協定」の締結がなされました。この協定は、埼玉経済を支える宝として、未来を担う子どもたちへの支援を目的としており、長引くコロナ禍によって子どもを取り巻く環境が大きく変わり、行政、企業、民間団体などがこれまで以上に連携し、社会全体で子どもを育てていく必要性が高まっている現状を受けての協定書締結になったと捉えています。未来を担う子どもの支援は、保護者への育児支援でもあり、さらには、保護者が安心して働ける就労支援にもなり、結果として就労支援は企業支援にまでたどり着くことになるのです。

私たち中小企業家は、日本経済の真の担い手としての誇りと自覚に立って、経営努力が公正にむくわれる地域経営環境を実現するために、今こそ会員が結束し、他の中小企業団体とも提携し、努力していかなければと考えています。この度の締結を皮切りに、金融や環境、教育分野等への広がりも予測されます。様々な業界で活躍されている会員企業はもちろんのこと、未加入企業に働きかけていくことで、今期のスローガンにある「仲間づくりで力が湧く同友会活動」の活性化につなげていけると考えています。

feature articles

『副代表理事あいさつ』

長期10年ビジョン策定と組織強化支援室強化 ～何がなんでもやる～ さいたまnext

副代表理事
植竹知子

コロナウイルス感染拡大により、経済活動が制約され、続いてはロシア･ウクライナ戦争と私たち中小企業家にとって明るい兆しが見えません。そんな中、埼玉同友会は「一社もとりこぼさない」というスローガンを掲げ、自主･民主･連帯の精神に基づく会運営を続けておりますが、完璧とはなりません。

しかし、遅れていた長期10年ビジョン策定も昨年度より足早に動き出しました。又、1,000名を切った会勢を急ピッチでかけ昇るべく、今期「量が質を生む」を理念に組織強化支援室のテコ入れをします。

私は埼玉県北で経営をしていますが、「埼玉中小企業家同友会」と言っても知名度が薄く全くブランディング（らしさの浸透）も無く、私は良い会と思い活動を続けてきたものの地域の周りの方に理解されないもどかしさが募り、本気で取り組まないと気が済まない気持ちが湧いております。会員の皆さんに問いたい！（特に理事役員さん）せっかく自身が加入している会です！皆が語りべとなって、埼玉同友会を埼玉のトップランナーに押し上げましょう！埼玉同友会全員一丸となり、会員としての誇りを持てる会にしていきましょう。

魅力ある“同友会づくり”を目指します

副代表理事
菊永良枝

今期2年目の副代表のお役目を務めさせて頂く事に感謝申し上げます。

経営環境をめぐり、次から次へと困難が押し寄せるこの時代に、中小企業経営者がどうあるべきかを考えさせられる昨年度でした。

DXをはじめ急激な技術革新やコストアップへの対応、更にはインクルーシブ･ジェンダー平等という意識の向上など取り組む課題は多く、経営者としての責任を全うするならば、常に繰り返し学んでいなければ、会社を維持し社員の生活を支える事は出来ないのだと強く感じました。同友会は地区例会･県の委員会･全国大会と本気で学べるチャンスが沢山あります。

先輩経営者たちの思いを引き継ぎ、この時代に対応する同友会運動を行い、今まさに長期ビジョンを作り上げようとしています。これは会員企業の持続発展と、その方向性を位置付ける為にも重要なものです。

副代表として会の内外に同友会の魅力を広げるために、私自身がこれからも切磋琢磨していきたいと思います。埼玉同友会が一丸となれるように皆様のご参加ご協力をお願いします。

長期ビジョンに基づく企業づくり･地域づくり･同友会づくり

副代表理事
吉田雄亮

昨年8月から本格的にスタートした長期ビジョン会議では多数の方にご参加くださいました。この試みは2023年埼玉同友会50周年･7月全国定時総会開催に向けて次の50年に向けてどのような長期視点で、企業･地域･同友会を作り上げて行くのかを決めていくものです。埼玉同友会の歴史を学び･未来を考えてスローガンと骨子までは完成しました。多くの人が関わる事により参加者の意欲が高まり「自分事」となる長期ビジョンとなります。今期は骨子を更に具体化する文章作りや、ブランディング化･ビジュアル化などより解りやすく具体的に活用しやすいものにして行きます。参加者からは自社･地区会･委員会活動の参考や学びになったという話を数多く頂いております。会員であればどなたでも参加可能です。視座を高く会員としての誇りを持てる長期ビジョン会議への参加をお待ちしております。2023年7月開催全国定時総会に向けて「高い次元の団結力」を皆さんと共に発揮をして、同友会運動を盛り上げて行きましょう。1年間よろしくお願いいたします。

『優れるな! 異なれ!』

副代表理事
奥津雅史

今期も副代表理事の職を拝命いたしました埼葛地区会の奥津です。

12年前私自身の地区会長就任時は世代交代の過渡期でした。様々な改革を余儀なくされましたが私なりに懸命に走ったつもりでした。しかし任期が終わって俯瞰できる立場になって初めて見えた事が沢山ありました。当時無駄だと考えて無くしたものが実は無駄ではなかった。その無駄に見えた時間こそが絆づくりに欠かせないものであった。後になって初めて身に染みて分かった事でした。誰もが扉を開けたい、しかしそれにはドアノブが必要です。要するにきっかけが必要なのです。そして何がそのドアノブになるのか、皆様のきっかけになればと思い事あるごとに伝えて行きたいと思います。

同友会は自主･民主･連帯です。先ず1番初めに自主があります。自主性を持つ事を私自身肝に銘じて行動致します。皆様どうぞ一年間宜しくお願い申し上げます。

ハイとYESと喜んで

副代表理事
髙橋浩一

昨年に引き続き、副代表理事を務めさせて頂く事になりました。大宮中央地区会の髙橋通信(株)の髙橋浩一です。どうぞよろしくお願いします。

新型コロナの蔓延は、経営の大打撃となっております。創業１０年目がこのような年となるとは思いもよりませんでした。このような状況にあっても、私は同友会活動をセーブしません。私は創業前から同友会に入会しています。別に同友会を好きでも嫌いでもありません。必要と思うから活動しています。自社の取り組みは、すべて、同友会で気付き、学び、教え導かれたものです。同友会活動を一所懸命に行っていれば、必ず、自社も良くなります。

会社の経営と同友会運動は不離一体、そう考えたときに、経営者は結果を出さなければならないのだから、同友会に参加しただけではもったいないのです。例会から、委員会から、全県経営研究集会から、総会から、全国行事から、得た学びを自社で実践して結果を出してこそです。同友会の仲間は仲良しこよしではないのです。実践できていないときに苦言を呈してくれる、共に苦しい状況を打開すべく切磋琢磨するのが、同友会の仲間です。入会したときに、同友会にはハイとYESと喜んでしかないと先輩に教わりました。同友会のために時間を調整するのは大変なこともありますが、皆様、ご協力をお願いします。

いまこそ視野を広く高く

副代表理事
米山正樹

川口地区会の米山です。主に政策問題と同友会の法人化を担当します。よろしくお願いいたします。

コロナ禍との共存生活は、もはや日常になっています。かといって、決して油断することなく経済を回していく、雇用を守り自社経営を維持･発展させていくことが経営者の責任です。それが出来るのが同友会であり、同友会に集まる皆さんでしょう。

今年に入って世界は大きく揺れています。今ほど平和の大切さを身近な問題として感じたことはありませんし、仕入れ資材不足やエネルギー不安、物価高騰など私たちの仕事や生活にも直接、間接に影響してきています。そうしたときだからこそ、同友会員は視野を広く、高く持って、自社を、自社がある地域を盛り上げていきましょう。

『人を生かす経営』を学び実践する同友会は、会員企業はもちろん会外の中小企業を励まし、地域社会の発展に貢献できる存在です。会員同士が互いに助け合い刺激し合って、強い会社をつくりましょう。そのことが地域を元気にします。

地域経済応援サミット(仮称)開催のお知らせ〈政策委員会〉

７月の中小企業強化月間に合わせ開催しています、地域経済応援サミットを2022年度も大野埼玉県知事、他の方をお招きして実施いたします。
県の地域経済政策、国の中小企業政策を学ぶことを通して、地域経済における中小企業の役割を再認識し、自社ならびに自地区会における地域経済活性化への取り組みを後押しできるような内容を計画しています。ぜご参加ください。

日　　時：7月13日(水) 13:15～16:00
会　　場：ビジネス交流プラザ　４階
参 加 費：無料

feature articles

同友会と自社の「共育ち」

副代表理事
金子弘行

昨年度に引き続き、副代表2年生となります。昨年は新地区支援（会員拡大、退会防止）、広報情報化、そして議案プロジェクトを担当しました。

新地区支援に関しては、植竹副代表とともに北部地域活性化について準備を進めました。広報情報化は、斉藤委員長と新ホームページやe.doyuを活用した埼玉同友会のIT・DX化の可能性を探りました。

中でもいちばん勉強になったのは議案プロジェクトで、リーダーとして「企業づくり」「地域づくり」「同友会づくり」3つのチームを取りまとめ、埼玉同友会の来期の計画についてボトムアップで作成していく流れを作りました。

前年度の議案プロジェクトは準備不足で、策定が後手後手にまわってしまった感は否めません。本年度も引き続き担当させていただきますので、早めの着手により、実現性の高い、具体的な議案ができるよう質を高めていきます。

議案作成は、そのまま自社の経営計画立案に使えます。ここで学んだ考え方や手法をぜひとも自社で実践し、よりよい会社づくりに役立てたいです。

副代表の活動を通して、同友会と自社がともに発展する流れを作ります。

ホップ!ステップ!! 全国総会に向けてジャ～ンプ!!

副代表理事
横山由紀子

昨年に引き続き、副代表理事を拝命いたしました。昨年度は障害者問題全国交流会from埼玉は会員の皆様のお陰で、記憶に残る素晴らしい大会となりました。ありがとうございました。今年も来年開催される全国総会に向けて、皆でワクワク知恵を出し合い、準備を進めていきましょう。

今年は副代表として、新入会員オリエンテーションと役員研修を担当させていただきます。新たに仲間となった方々に同友会の活動を分かりやすくお伝えし、理事の方々には役として何をすべきかを一緒に学び実践していきたいと思います。また、他にも長期ビジョンの地域づくりチームリーダー、組織強化支援室副室長、女性経営者クラブ・ファム副委員長と数々の役を担わせていただきます。同友会と関わり12年。先輩や同志の皆さんのお陰で、会社も私も大きく変わりました。数々のお役を通して、埼玉同友会の良さを地域に発信し、多くの経営者仲間を迎え入れ、全国総会を迎えたいと思います。皆さん！一緒に盛り上げていきましょう！！

ホップ・ステップ・ジャンプ

理事・事務局長
清水信彰

2021年度は新型コロナの影響とロシアのウクライナ侵攻があり先行き不透明感は更に増しました。「中小企業は平和のなかでのみ繁栄する」という同友会の先人の方の実感の元、今年も皆さまと共に同友会運動を発展させるため、また、皆さまの企業づくりが大きく前進するよう事務局員一同、微力ながら智恵を絞ってまいります。

昨年10月開催の「障害者問題全国交流会from埼玉」は準備が万全でコンパクトながらも成功裡に開催できました。埼玉同友会としては2018年開催の女性経営者全国交流会IN埼玉以来、「ホップ・ステップ・ジャンプ」を合言葉に次の目標は2023年開催の中同協主催の全国定時総会です。皆様と事務局はしっかり準備をして是非とも大成功させたいと思っております。

今年度もどうぞよろしくお願い致します。

未来へ！人間の尊厳を守り一人一人が輝く新たな50年史を踏み出そう！

中同協 定時総会in埼玉が来年開催されます！

毎年各地で開催される中同協定時総会が、2023年埼玉の地で開催されます。
宇梶純江・小松和人両実行委員長のもと、実行委員会も始動しました。
一緒に定時総会をつくりあげるメンバーを現在募集中です。
ぜひご応募ください!!

開催日：2023年７月13日（木）～ 14日（金）
「いざ（13）埼玉、いいよ（14）全国総会」と覚えてください♬
※リアル開催を予定しています

2022年度の委員会活動が始まります。会員の皆様の要求、時代や環境の変化に対応していくために、より深い専門性を高める委員会活動は重要です。委員会には、組織・運営する「運営委員会」と専門的な課題に取り組む「専門委員会」があります。それぞれの委員会は、地区会の垣根を越えて自分の興味関心、また悩みをかかえている分野に参加する方が集まり活動をしています。また、委員会の相互連携による学習会やセミナー開催も予定されているので、ぜひ積極的にご参加ください。

『委員長あいさつ』

＝運営委員会＝

【広報情報化委員会】

「広報」とは。
「情報」とは。

広報情報化委員長　**齊藤壽和**

我々、広報情報化委員会は、広報誌「DOYOUさいたま」や、委員会からの様々な発信を通じ、書き手、読み手がつながり、自社環境、地域経済、埼玉同友会の発展につなげることを“ビジョン”としています。

来年、2023年7月に控えた、埼玉で開催される中同協定時総会。

全国の仲間が集まります。その場に埼玉の仲間たちを集めます。そして、新たな仲間を集めます。我々の「広報」のちからで。

「情報」のちから。ときには、自社の問題、課題の解決。ときには、新たなイノベーション創出。情報を伝える我々と、その情報を増やす新たな仲間による辞書の1ページ。「会員増強」。

共感されるコミュニティづくり。これが“ミッション”です。

課題の本質を深く理解し、真のニーズを掴み、相手に伝わるものを企画し、言語化する。
真、新、正しい情報を発信する。これは“バリュー”です。
ということで、我々は楽しくやります!一番、楽しみながらやります!

人生、やるだけです。行動を起こすことです。

みなさまに、我々の行動による広報活動と情報提供で、“モチベーション”をお届けできれば幸いです。

＝専門委員会＝

【経営労働委員会】

経営労働を実践しよう!
会社を一歩成長させよう!

経営労働委員長　**小松和人**

今年度より、経営労働委員会の委員長を務めさせていただきます、川口地区会、㈱こまむぐの小松和人と申します。どうぞよろしくお願いします。

2年連続リモートで開催された経営指針セミナーでしたが、今年度からリアルも交えたハイブリットでの開催を行います。また、経営指針書を作ったまま、なかなか実践に繋がらないという課題を克服すべく、今年度より「経営実践セミナー（仮称）」の開催も予定しています。

満生前委員長が在任中、コロナ禍の厳しい状況下で知恵を絞りながらおこなった活動が、今年度の計画の基礎となり、新たなる取組へと変化しています。いかなる状況でも活動を止めない。そんな愚直な姿勢が時間をかけて成果に結びつくのだと、委員会活動を通じて学ばせていただきました。

経営指針を作るだけでなく、私が経験したように委員会活動を通じて多くの学びを得ることができる。そして学びを具体的な実践に繋げ、関わる一社一社が強くなる。そんな委員会にしてまいりたいと思います。

是非、経営労働委員会にご参加ください!

【共同求人委員会】

一致団結・歩みを止めない
共同求人活動

共同求人委員長　**山本成年**

皆さんもご存じだと思いますが、日本は人口減少が起きており益々採用が難しい時代になってきています。

その中で大手の合同企業説明会と同じ様にただ会場に沢山の学生を集め数打てば当たるで雇用を目指すので良いのでしょうか?

中小企業家同友会が目指す雇用の形とは、高校や大学でのキャリア支援やインターンシップの中で中小企業を知って頂きその学生たちが埼玉同友会の合説会場に来場し各企業ブースには、年間で企業が募集する社員数の5倍以上の学生が着座しそのうちの50%が会社説明会に来社し企業を知ってもらうそこから雇用へと繋げていくそんな形が理想なのではないのでしょうか。

その為には我々企業が学生にとって魅力的でなければいけません。

企業の成長が必要なのです。

月に一度の勉強会の中で、法律・労働環境整備・企業の成長戦略・地域連携の大切さなどを学び合い企業の魅力と知識を身に着け合う事が必要ではないでしょうか。

今年度からは更に高校性の新卒雇用にも力を入れて活動を行います。

大学生・高校生の新卒雇用に興味がある方は是非、共同求人委員会で一緒に活動しましょう。

地区会と連携をして地元の高校の課題解決型授業に協力し学生や先生方に中小企業の魅力を発信して頂ける仲間を求めています。

よろしくお願いします。

【社員教育委員会】

経営者の学びの場

社員教育委員長　**髙橋浩一**

昨年に引き続き、社員教育委員会の委員長を務めさせて頂く事になりました。大宮中央地区会の髙橋通信㈱の髙橋浩一です。どうぞよろしくお願いします。

今期は「パッション!　会社発展のために真摯に社員と向き合おう」をスローガンに活動していこうと思っています。今年の4月には、新入社員研修をリアルで開催することが出来ました。やはり、リアルの研修はいいですね。今年の研修は、リアル開催も可能になるでしょう。

今後も経営者も学べる研修会を作っていこうと思います。新入社員研修もそうですが、実は、社員研修は、スタッフとして参加する経営者にとってこそ、学びの多い研修会であることもわかってきました。社員教育委員会は、社員に研修の場を提供するだけの委員会ではありません。経営者が社員との向き合い方を学ぶ委員会でもあるのです。

初めの一歩は社長が意識を変えることです。そして経営理念に基づいて社員を雇用し続けます。まずは社長が社員教育担当であっても、その後は、先輩社員が後輩社員を導いて共に成長することが、会社発展につながると思います。これが三位一体における社員教育です。

厳しい経営環境だからこそ、社員と一緒に会社が成長するため、社員教育委員会に、ぜひ、足をお運びください。

【障害者雇用推進委員会】

「アフター障全交」のその先へ。

障害者雇用推進委員長　**関根健一**

埼玉同友会一丸となって取り組んだ「障害者問題全国交流会from埼玉」から早くも半年が過ぎました。

過去最多の参加者となった今大会では、全国の仲間と繋がり、埼玉からも多くの会員が参加してくれました。

さらに障全交開催に向かう過程の中で、いくつもの地区会が障害者雇用についての例会などを開催し、大会を盛りたててくださったことが印象に残っています。

私達は、この大会を通して障害者雇用から得られる学びは、人を生かす経営の総合実践に欠かすことができないことを改めて確認しました。

そして迎えた新年度。

「アフター障全交」を合言葉に進めてきた障害者雇用推進委員会の活動も、これを機に、更に前へ進めていく時期を迎えたと思います。

障全交での学びを活かし、次のステップへと向かっていくスタートの一年の始まりです。

今年度は、更に地域に密着し、ネットワークを広げていく障害者雇用推進委員会。

ともに学び、実践し「共生社会の実現」に向かっていきましょう!

【仕事づくり委員会】

「会員のみんなを表に出すお手伝い」～経営戦略を磨きあい、ミッションで繋がろう～

仕事づくり委員長　**菅野広治**

6月10日(金)経済産業省 関東経済産業局 地域経済部 デジタル経済課 課長 室住氏をお呼びして、『デジタル技術(DX)で儲けよう!』を実施します。会員企業の77.5%を占める29人以下の企業を対象にしたデジタル化(DX)について、事例を踏まえてお話しいただき、零細企業の実態を共有するとともに、政策についてお話しいただきます。同時に、デジタル技術を駆使した例会体験もしてもらいます。

実践学習会も継続して実施し、全県経営研究集会・彩の国ビジネスアリーナにて成果を発表していく予定です。同友会運動の実践が仕事につながるよう、企業連携を促すための、デジタル技術による各地区例会のデータベースつくりも推進します。コロナ前は電話とFAXでしか連絡手段のなかった社長が積極的にデジタルによるデータベースづくりに取り組

んでいます。デジタル技術(DX)をきっかけにわずかな予算でできることがたくさん増えています。デジタル技術を通して明らかになる経営上の強みを磨きあい、これからを見据えて、互いのミッションで繋がれる企業に成長していきましょ

【女性経営者クラブ・ファム】

未来を生きる女性リーダー

女性経営者クラブ・ファム委員長　**菊永良枝**

女性経営者の活動が社会に少なからぬ影響を与える時代、歴代の委員長の思いがこの委員会を作って来て、今では理事会·委員会·地区会でリーダーシップを発揮する女性会員の方が増えています。

引き続きファムの活動を通して、女性経営者ならではの課題に正面から向き合うとともに、急激に変わりゆく技術革新にも柔軟性としなやかさで対応し、財務に強く利益を生み出す未来を生きる経営者の育成を実現していきたいです。

女性部だけの学びの活動に止まらず、各地区会·委員会と連携し、会員増強への協力、サポートを行います。男女関係なく学べる、経営座談会·例会·学習会を運営し、埼玉同友会全16地区会に女性会員が入会して頂ける橋渡しができたら良いと考えます。また10年後の女性経営者クラブ·ファムのあり方を考えるビジョンづくりを年間通して行い、向かうべき方向を定める年度にします。

明るく笑いの絶えないこの委員会に皆様どんどんご参加ください。今年度も宜しくお願い申し上げます。

【青年部】

笑顔溢れる未来(次代)づくり ～志を次世代へ繋ぎ、しなやかに発展する青年部～

青年部部長　**中川怜子**

私たち青年部は「埼玉中小企業家同友会」を明るく元気にします。

コロナ禍も3年、「大変な時ほど同友会に来られない。」そんな経営者も居ます。だからこそ、埼玉青年部は「大変な時こそ参加して元気になれる」そんな部会を作り元気を発信します。それは未来づくりのためです。青年経営者時代から同友会型企業づくりを真摯に学び、青年部だけに留まらず、埼玉中小企業家同友会を盛り上げようと中長期的に努力することで、本質の「体現者」が増えるのではないかと確信しています。

来年埼玉県で行われる全国総会·地区会·委員会などに積極的に関わり、積極的にお役を担い、青年経営者が埼玉同友会の未来を創る!その覚悟で臨みます。

1人で悩まず、みんなで切磋琢磨し同友会型企業づくりを学びましょう。本当に大変な時こそ、経営者自らの気づきと自己変革です。本気で悩み、学び、実践を切磋琢磨し推進しましょう!次の10年に向けて、経営を高め、社会性を高め、次世代経営者へたくさんのギフトを残します。

どうぞ、これからもご指導·ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

【政策委員会】

多様な地域連携を実践し「地域づくり」を進めよう

政策委員長　**米山正樹**

今期の政策委員会は、地域経済·地域社会の維持·発展を目指して、行政や市民、幅広い分野の団体と協働して「地域づくり」に取り組むとともに、その実践を力に県内自治体における中小企業振興基本条例の制定と活用の運動につなげていきたいと思います。

7月20日は「中小企業の日」、7月は「中小企業魅力発信月間」であることを大いにPRして、年間を通して地域に根差した中小企業ならではの「地域」を意識した活動を、各地区会、他の委員会と連携しながら取り組みたいと思います。

併せて今期は、景況調査の標本数と分析結果もより充実させて、会員の自社経営に役立つ情報提供に努めつつ、埼玉同友会として埼玉県や県内市町村への政策提言活動にいかしていくことを目指します。

同友会理念の一つに「国民や地域と共に歩む中小企業」があります。また、経営指針づくりでは、外部環境を考えることの大切さを学びます。政策委員会はこうしたことが実感できる委員会です。是非、政策委員会に参加していただき、政策委員会を活用してください。

今年の全研はリアル開催予定です!!

2022年度の全県経営研究集会は実行委員会を中心に、着々と準備を進めています。
4月の実行委員会で記念講演講師が決定しました。
登録開始は7月中旬予定ですが、ぜひ楽しみにご予定ください。

2022年度全研
開催日:10月19日(水)
記念講演講師:竹本勝紀氏
(銚子電鉄代表取締役・千葉県中小企業家同友会)
設営:むさし野地区会

Topics

2022年度合同入社式&新入社員研修会

合同入社式：4月1日(金) 新入社員研修会：4月4日(月)・4月5日(火)

合同入社式

4月1日に合同入社式が開催されました。
新型コロナウイルス感染症の関係で昨年度はWebでの開催ではありましたが、今年度は対面での開催となり、春の陽気のなか35社より71名の新入社員の皆さまに参加頂きました。

埼玉県産業労働部長の板東様からコロナ禍で社会経済活動が大きく変化しているなかで、経済を持続的に成長させていくためには、県内企業の99.8%を占める中小企業の発展が欠かせなく、柔軟な感性で新たな発想を持ち、様々なことにチャレンジし社会人としての第一歩を踏み出して欲しいと、新たな門出へのメッセージを頂きました。
記念講演では吉田副代表理事より「地域企業で働き、学び、生きること」をテーマにお話し頂き、新社会人として71名の同期と共に心新たにする機会となりました。(先輩社員のことば：東京ブレイズ㈱石黒仁さん)　　(事務局 大藪博史 記)

新入社員研修会

新入社員研修は、社員の社会人としての初仕事。そして自社では同期がいなくても自社を超えて同友会内の同期との交流の場でもあります。

そのために充実したものにしたい。今年こそはという想いで、万全の感染防止対策の上で、3年ぶりのリアル開催となりました。さらに今年は通常1.5日のところ、丸2日間かけて、ビジネスマナー、社会人としての心構えの研修を行いました。新入社員研修のスタッフはとても疲れます(若者相手だから?)が、通常の例会とはまた違った学び、気付きの宝庫です。自社の社員以外のお世話をするところが『キモ』なのかもしれません。

長く研修に関わっていると、その年ごとに受講生の特徴があることに気付きます。今年の受講生は、「責任」を重要視しているようです。受講生達はとても優秀で(年々優秀になります。)、特に討論・発表スキルを持っています。学校教育方針の変化もあるのでしょう。法律も含め、働くことの基礎知識を身に付けてから社会人になっています。

新入社員が社会人としての責任を果たす決意で入社してくれているのです。受け入れる我々は彼らに恥じない労働環境整備や経営をしないと、これからの少子化社会を生き残ることはできないでしょう。　(大宮中央地区会 和泉紀子 記)

企業訪問記

三矢精工㈱

代表取締役社長
高橋 尚樹氏(北部地区会)

各種軸受、自動車関連部品の製造、販売を手掛ける三矢精工㈱は1913年に創業し「お客様に必要な企業であれ」という精神のもと、自動車部品の国産化に伴う巻ブシュの試作研究にいち早く取り組み、1940年に国内で初めてその開発に成功したそうです。

グローバル化にも対応して、2012年に初の海外拠点としてMITSUYA SEIKO THAILANDをタイ・アマタシティー工業団地に設立しました。「同友会で学んだ『人を生かす経営』は、言葉や国民性の違いの壁を乗り越えて、海外での会社経営にも活かされている」と、高橋氏は語ります。

世界の自動車産業への挑戦は、ニューズウィーク国際版(2022年 2月号)にも掲載され、その品質性の高さとともに全世界に紹介されました。

性能の限界に挑戦する三矢精工の今後の展開に、世界の自動車産業が注目しているといっても過言ではありません。
(事務局 古川 佳子記)

会社概要

会社住所：(工場)埼玉県深谷市上野台1400-10
本社：東京都世田谷区代沢5-4-22
資本金：1億円
従業員：160人
事業概要：各種軸受・自動車関連部品の製造および販売
会社HP：https://www.mitsuya-seiko.co.jp

ファム・障害者雇用推進委員会 合同オープン学習会

20代で始めた事業が地域を作り、世界を変える
～子どもたちと共に歩む共生社会への道～

3月29日、女性経営者クラブ・ファム 障害者雇用推進委員会オープン学習会がオンラインで開催されました。

報告者：安永愛香氏
〈社会福祉法人どろんこ会 理事長（むさし野地区会）〉

埼玉で行われた障全交開催の流れから、県の委員会同士、初組み合わせとなる合同オープン学習会となり、多数の参加者と共に、学びの場で繋がることができました。安永氏が経営する企業は、20年余りで4法人、全国約140ケ所の施設が展開されており、少人数で始まった小さな保育園が、今では、2000人の社員を雇用し、地域での存在感も、大きな企業に発展されることとなりました。その道のりは、全てがうまくいったわけではないものの、失敗から得た学びそのものが、自分を強くさせたと語られ、人としての強さを感じたのが、とても印象的でした。厳しい時こそ考え、「自分は何のためにやっているのか、10年先、20年先にどうなっていたいのか」ここだけはブレず、そして、思い続けること、実行し続けることが大事だと語ってくれました。さらに、未来を大きく位置付けたものとして、「事業計画」「経営者としての責任と行動」「仕組みづくり」をあげていました。また、新たに、障害児と健常児は共に生活する施設を展開するなど、地域や社会に、必要とされる企業づくりに、専念されてきた結果が、形となったのではないでしょうか。さらに、9つに分かれてのグループ討論では、「社会、地域から、必要とされている実感は、ありますか?また、自社が必要とされるための使命とは、何だと考えますか?」をテーマに置き、安永氏にもグループを回っていただき、少々難しいテーマではありましたが、それぞれ感じたことや、実践に繋がるための討論を繰り広げることができました。テーマに沿った討論を展開し、自社の使命への考察を深められたことは、開催意義と共通したのではないかと感じています。

（埼葛地区会 水野浩美 記）

2022年度理事候補者・理事研修会に参加して
（3月25日（金）16時～Zoom）

今年度から私が理事という事で研修に参加させていただきました。まず印象に残った奥津副代表理事のお言葉「目標を持たない人は5倍諦めやすく、3倍問題が起きる」… 納得!今までもリアルな目標をしっかり立て、叶わなかったことはありません。（※ダイエット以外）今後、理事になりこれからの埼玉同友会がどんな方向性に向かうのか…など、ビジョンを共有し、理事全員が「自分ごと」にすればきっと目標はその通りになると強く思えました。

続いて、同友会の理想のような菊永副代表理事の実践報告を伺い、真面目に真摯に取り組めばいい会社・いいチームになる!という見本に反省と刺激を頂いた研修会でした。

今までも先輩たちから、同友会の組織運営は「自社の予行演習」とよく耳にしていましたが、最近までは〝理解はできるけどピンときていなかった〟ように思います。…が、理事会研修や長期ビジョン会議に出席し、指針セミナーで学んだ事が全てに置き換えられ、県・地区会運営も一緒だなぁと感じるようになりました。全てにおいて、長期・中期・短期の目標を持ち、そこに向かって取り組む。先の目標があるから、今これをすべき!という計画。その重要性を再確認する事ができました。そして、やはりもっともっと経験豊富な素晴らしい先輩から色々な経験談を伺うと、自らの未熟さを感じざるを得ないのですが、その未熟な部分を改めて認識できた事も、今後の成長に繋がると思えました。

これから理事として自ら学び、こんな未熟な私でも何か役立つ事があるのかを模索しながら前進して行きたいと思います。

（川口地区会 福井千波 記）

report

埼玉中小企業家同友会 2022年度第1回理事会議事録

《2021年度スローガン》 今こそ本質を見極め「人を生かす経営」の総合実践を ～企業づくり・地域づくり・仲間づくりで力の湧く同友会活動を～

◆日時：2022年4月28日(木)18:30～20:30
◆会場：Web会議(Zoom)
◆司会・議長：横山副代表理事
◆議事録署名者：植竹副代表理事
◆議事録作成者：清水事務局長

・太田代表理事挨拶
本日は2022年度第1回の理事会です。県総会では理事の皆さんも同様ですが代表理事として承認されましたので今年度もどうぞよろしくお願いいたします。理事会は埼玉同友会の運営と運動の最高決定機関です。ここで決定したことを地区会に持ちかえり伝播してください。
ところで県総会の森氏の講演は大変役に立つものでした。講演を聞き終えた後、皆さんは経営デザインシートについてチャレンジしましたか。ぜひホームページからダウンロードしてください、私もしました。
今年度の理事会についてですが効率を考えてオンラインの開催をメインに実施したいと思います。節目においてはリアル開催も考えますが原則はオンライン開催といたします。今年一年、どうぞよろしくお願いいたします。

Ⅰ. 議事(審議事項・協議事項・報告承認事項・連絡事項)
・正副代表理事及び理事全員を司会の横山副代表理事が紹介した。

協議・審議事項

1. 働く女性のキャリア形成促進事業の共催について
(報告者：菊永副代表理事)承認
以下の2事業について埼玉県より共催の依頼があったので協議審議し、承認された。
・働く女性応援講座：定着支援からステップアップを目指す
・管理職向け研修：女性管理職のスキル習得

報告事項

1. 第49回定時総会総括(報告者：菊永副代表理事)
(1)参加目標・実績：目標337名、実績229名　68.0%
・総会については代表理事の丁寧な説明等があり、わかりやすかったとの感想コメントの記述が多かった。総会・議案についての質問については期限までには今回はなかった。また、記念講演の評価はほぼ90%がよかったとなった。中小企業の経営を続けていく我々にとって大変有意義なものであった。
(2)定時総会の今年度の収支報告(仮)では黒字予測、今後精査して再度報告する。

2. 組織強化支援室報告
(報告者：植竹副代表理事・伊藤組織強化支援室幹事長)
昨今の厳しい環境下にあって埼玉同友会の会員は1000名を切っている。そこで組織強化支援室としてはこの状況を何とか打開したいと考えている。組織強化支援室の経緯としては、北部地域で会員が少ないため、深谷を中心に声掛けをした。市長や商工会青年部等に声掛けしたがあまりに効果がなく知名度が低かった。結果、自分自身としてはこんなに会員が温かくて良い会と思っているのに成果が出なかった。そこで改めて考えなおして同友会の良さをきちんと伝える語り部を増やし、そして今一度会員増を図ることを何がなんでもやり遂げようと思った。
千葉同友会は現在1650名の会員がいる。つい最近まで埼玉と同数の会員数だった。改めて千葉の同友会の方に聞いた所、結論としては会員数は量が質を生むという事だった。
今回は以下のような計画を立てたので皆様の協力を仰ぎたい。①組織図②活動指針③組織強化支援室の活動方針④計画(八策)を提示した。中でも理事の方のプラスワン運動で是非とも埼玉同友会に大きなうねりを不退転の気持ちで推進していく。埼玉同友会会員として次年度1100名を目標にプライドを保てるような会勢にしていきましょう。よろしくお願いいたします。

3. 全研実行委員会報告(報告者：髙橋副代表理事)
2022年度の実行委員会が開催された。その中において今年の全研の記念講演者が決定した。千葉同友会の竹本勝紀氏(銚子電鉄代表取締役)に決定。今回の分科会はリアルで4分科会、ZOOMで1分科会、見学で1分科会の6分科会を予定している。組織図は次回の実行委員会で報告する。昨年好評のPR動画を予定している。

4. 中同協　定時総会in埼玉について(報告者：宇梶理事、小松(和)理事)
・開催キャッチコピーと開催意義が決定した。
キャッチコピー：未来へ!人間の尊厳を守り一人一人が輝く新たな50年史を踏み出そう!
・開催日程：2023年7月13日(木)～14日(金)
開催日程の13日と14日を簡単に覚えるために「いざ(13)埼玉、いいよ(14)全国総会」と覚えていただきたい。
・組織については現在、実行委員長の他、正副幹事長、各部会のリーダー・サブリーダー等の選出を行っている。定時総会はリアル開催とオンライン開催の準備をしていくのでまだまだ委員が足りません、ぜひ応募していただきたい。今年度の定時総会は沖縄開催ですがそこに多くの方で参加し次年度を盛り上げたいのでぜひ参加していただきたい。

5. 政策委員会報告(報告者：米山副代表理事)
2022年1～3月の景況調査がまとまった。結果については前理事会でも述べたが連続して実施しているのでコロナ禍が始まった年度からの推移等をしっかりと分かりやすくなっている。景況調査については半年感覚だが継続してみていくと経営環境・状況の流れがよくわかる。自社と見比べていっていただきたい、定点調査として活かしていただきたい。

6. 長期ビジョン進捗状況について
4月15日に初めてリアルで会議を開催いたしましたがそこでは分科会ごと(企業づくり、地域づくり、同友会づくり)ではなく、3分科会合同で会議を開いた。それぞれの部会のスローガン、骨子を参加者全員で討議しました。今後のスケジュールとしては5月27日(金)18:30～20:30にリモート開催、6月24日開催です、新理事の方も全員参加可能なのでぜひ参加していただきたい。

7. その他
①埼玉県との子供協定についての報告　(協定締結)
②埼玉県との経済戦略会議についての報告　(継続協議)
③DOYOUさいたま7・8月合併号の原稿依頼　(広報情報化委員会より)
④2022年度女性経営者全国交流会in島根　(参加依頼)
⑤2022年度青年経営者フォーラム　(参加依頼)
⑥2022年度理事会実施方法：オンラインとリアル開催の併用

グループ討論

◆【グループ討論：理事のプラスワン運動の成功の為の課題は何か】
正副代表理事よりテーマについて問題提起後、全参加理事・事務局員でグループ討論を行った。
・グループ長：2022年度副代表理事
・発表者：
・大宮東　菅野氏
一人一人の自主性が足らないことが課題。企業づくりの良い見本にならなければならない
・さくら　鈴木氏
入れようと思う事、今まで本気ではなかった。まずは同友会に触れてもらう、付き合いでも可。
・川口　福井氏
入会すればよくなるだけでは駄目でまずは入って良かったことをきちんと伝え、会員を多くして行政にも影響力を行使できるようにする。
・東彩　五十嵐氏
理事として声を届けるためには数も必要
・東部　藤森氏
多くの方に声をかける。拡大の目標を作る。ビジョンを作るべき。悩みを聞きながら誘う。
・中部　満生氏
同友会の素晴らしさを伝えるツールを活用する。デジタルツールも必要ではないか。
・さくら　吉田氏
会員勧誘のための切り口ツールを活用したい。フローチャートも活用したい。
・東部　沓沢氏
士気を高く持って増強を進める、入会したばかりの方のフォロー。

新たな辞書の1ページ 新入会員紹介 (4/1～)

鈴木裕介
モデリング㈱
中部地区会
埼玉県内の中小企業に特化した、オフィス環境全般のサポート。通信機器、OA機器の販売。ホームページ制作等

山岸 秀
山希工業㈱
東彩地区会
建築板金業、金物取付

梅澤慶太
㈱モンスター不動産
西部地区会
不動産売買

〈登録変更〉
小島 貴光
小島電気工業㈱
東部地区会
電気工事業

萩原 亮
吉川柔心会
東彩地区会
柔道教室

大﨑幸恵
NPO法人子育てネットくまがや
さくら地区会
地域子育て支援拠点事業(2ヶ所)、利用者支援事業、子育て世代包括支援センター事業

〈登録変更〉
黒井 英樹
㈱ニッケン
ホールディングス
戸田・蕨地区会
不動産売買、賃貸管理業

同友会日誌 4月1日～30日

1日(金) 合同入社式、大宮中央幹事会
2日(土) 浦和幹事研修会
4日(月) 新入社員研修会(社員教育委員会)、東彩幹事会
さくら幹事会、彩北幹事会
5日(火) 新入社員研修会(社員教育委員会)、大宮東幹事会
川口幹事会、川越幹事会、西部幹事会
大宮南幹事会
6日(水) 浦和幹事会、埼葛幹事会、中部幹事会
むさし野幹事会
7日(木) 人を生かす経営勉強会、戸田・蕨幹事会
東部幹事会
8日(金) 正副代表理事会議、仕事づくり委員会、北部幹事会
11日(月) ファム幹事会
12日(火) 共同求人委員会、障害者雇用推進委員会
13日(水) 広報情報化委員会
14日(木) 経営労働委員会
15日(金) 第9回長期ビジョン検討会
18日(月) 政策委員会、新入会員オリエンテーション
19日(火) 就職指導者のための企業研究会
(高校教員との交流会)、政策委員会
20日(水) 全研実行委員会
22日(金) 合同企業説明会
23日(土) 第49回定時総会
25日(月) 大宮ブロック会議、むさし野正副連絡会
26日(火) 組織強化支援室会議、社員教育委員会
27日(水) 青年部幹事会
28日(木) 第1回理事会

会員information

《住所変更》

東彩地区会 ㈱CAREG 久保田陵一会員
〒342-0045 埼玉県吉川市木売 2-19-12
アズコム吉川 101

浦和地区会 ㈱ケイハート 北川登美代会員
〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂
3-6-12 グローバル県庁前 203

《役員変更》

むさし野地区会 ㈱KSP 石井利典会員
取締役へ

川越地区会 (医) 愛和会 愛和病院 中里由香会員
師長へ

発行日変更に伴う広告封入サービスのお知らせ

次月号の「DOYOUさいたま7.8月号」は合併号となります。
発送は7月15日(金)を予定しています。
今号に封入されている広告封入サービス申込書は「DOYOUさいたま7.8月合併号」を封入しておりますが、イベント開催など日付の関わるチラシを封入する場合は、発送日にご注意ください。

◆訃報 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

むさし野地区会 青木英和会員のご母堂がご逝去されました

会員数 2022年5月9日現在

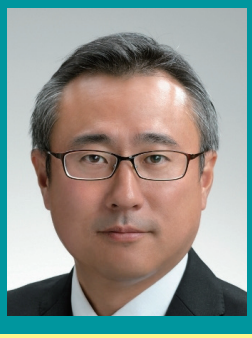
地区会名	会員数	地区会名	会員数	地区会名	会員数
川 口	60	大宮南	78	北 部	32
戸田・蕨	46	西 部	41	さくら	91
浦 和	69	むさし野	91	川 越	84
大宮東	39	東 部	128	東 彩	59
大宮中央	33	中 部	47	彩 北	17
		埼 葛	47	計	962

編 集 後 記

桜の季節もあっという間に終わり、見渡す限り緑が広がる景色となりました。桜の花びらの散り際は美しくもあり寂しくもありますが、もう一つ、違った見方があるのだということを先日教えてもらいました。下を向いて歩いている人に「春がきたよ」と知らせるために桜の花びらは散っていくのだそうです。ピンクに敷き詰められた足元をみて、自然と空を見上げることができるよう、桜が手伝ってくれている。上を向く力をそっと与えてくれているんだなぁ。ふとした時に寄り添える、誰かの力になる、そんな優しい存在になれたらいいなと、思います。

(東部地区会 藤元天美 記)

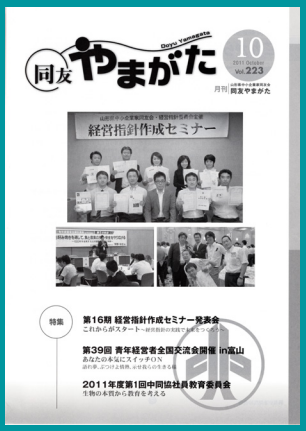
世渡り上手な頼られリーダー



鈴木将浩

すずき まさひろ

鈴木行政書士事務所
中部地区会
埼玉県鴻巣市原馬室349
TEL:048-501-5607



同友やまがたの表紙にも載りました

無試験街道を突き進む

鈴木行政書士が発行している情報紙「はじめの一歩」には時々サッカーの話題が掲載されます。

「小学3年のとき近所の友達がやっていたので、そのサッカークラブに入りました。でも通うのが嫌でした。」「えっ?」「怒る監督で、練習日が雨だと嬉しいくらいでした。」

それでもサッカーは続け中学へ。やってきたからと部活はサッカー。ところがバスケ部と並ぶトップクラスの厳しさ。でも気づくとリフティングは上手くなっており、足も速かったことから1年生からレギュラーとなっていました。

高校は推薦で試験を受けることなく大宮北高校に進学。部活は即決でサッカー。入学して2日目には他の新入生が見学している中、先輩に交ざって練習に参加していました。さて大学は?これまた指定校推薦で希望する法学部のある専修大学に9月には合格。クラスメートが受験勉強に励む中、卒業まで後輩に交ざっての部活やアルバイトに励んでいたようです。

当時は50m走で6秒を切る俊足

大学ではサッカーは練習場まで遠いこともあり引退。唯一勧誘されたアウトドア系サークルが楽しそうに活動している様子に惹かれて入ることに決めました。2年後鈴木さんがそのサークルに勧誘したのが大森靖之さん(浦和地区会)。そして幾年月あるとき大森さんは図書館で偶然手にした「DOYOUさいたま」の表紙に鈴木先輩が載っているのを見つけてびっくり! 鈴木先輩に連絡したら同友会にも勧誘されました。

敷かれたレールではなく、石橋を叩きながらも素早く渡ってしまう鈴木さん。「世渡り上手なのですよ」と本人は言います。

行政書士の仕事は同友会と共にスタート

大学生活も終盤になると世は超就職氷河期。それでも最初に受けた会社で一発採用。東証2部上場のシロアリ駆除の会社でした。赴任先は山形。各家庭をめぐる営業職でしたが3年半で退職。アルバイトをしながら、どうしようか考えているとき頭に浮かんだのが行政書士。人生初の受験です。それが、なななんと半年ほどの受験勉強で一発合格。山形での受験番号は1番、合格率5%の難関でした。

地方の特性から雇われるのは難しい環境のため即開業へと踏み切ります。すると山形に在住する大学時代の友人からコミュニティー FMの社長を紹介されました。ラジオに出演したり、宣伝も許されたり。この社長から勧誘され山形同友会に入会。当時は27歳、売上はほとんどゼロだったそうです。所属となった山形支部は150人ほど。20代は他に見当たらず。行政書士もいないことから徐々に仕事が入って来るようになりました。仕事も増えていき、例会・懇親会への参加を続けていました。そんなある日お母様が倒れたとの知らせが入り、鴻巣に戻ることを決意。自身に課した条件は戻る前に経営指針づくりセミナーを受講しておくこと。ここで理念や物事の捉え方は「科学性、社会性、人間性」が基本であることを知り、以降ずっと鈴木さんのベースとなっていくのです。

実践の場を求めて

移籍した埼玉同友会は中部地区会所属になります。しかし地区会の会員数は多くありません。前代表理事の久賀さんの例会報告も参考に、他の団体での経験も必要と考えていたところ、行政書士会で出会った同年代の薦めでJC(青年会議所)に入会。腰掛けのつもりでしたが、2年半後には事務局長を任されることになります。そして、同友会は自社が出来ることを地域に向けて提供していくこと。一方JCは「地域のために」という自発的な意識を多くの人が持つよう拡散していくこと。地域への関わり方にも特徴があることに気づきます。JCでは2017年にブーケを同時に贈るペアの数でギネス記録を達成。2018年には理事長に就任。同友会の学びは1人で行う仕事では実践しにくい。地域のコミュニティーでリーダーを務めるから実践の場になっているとのこと。今年度はロータリークラブの会長、中学のPTA会長も引き受けています。仕事も地域交流も誠実にこなされている証なのではないでしょうか。

地域のみんなが集まってギネス記録達成!

(中部地区会 中山晴喜／矢澤敦臣 記)

埼玉同友会
広報情報化委員

●委員長●
東彩 齊藤壽和
●副委員長●
川越 小田 明
埼葛 松本賢二
中部 矢澤敦臣

●委員●
川口 福井千波
山本佳奈子
山室 奈美
戸田・蕨 池田大喜
浦和 三友哲哉
大森靖之
大宮東 柴田大智
大宮中央 鈴木光義
高橋満広
大宮南 加藤早苗
北村政義
西部 小池優太
水野美和
むさし野 古崎千穂
東部 島袋輝仁
小川洋一
中部 矢澤敦臣
中山晴喜
埼葛 松本賢二
北部 東禎章
さくら 遠藤裕行
水野純子
山田美紀子
川越 小田明
東彩 齊藤壽和
埼北 江田雅之
●制作担当● 杤込博久
●印刷・製本● 加藤早苗
●事務局● 古川佳子
(順不同・敬称略)

■ 2022年6月1日発行(毎月1回1日発行)■発行元／埼玉中小企業家同友会〒338-0001さいたま市中央区上落合2-3-2新都心ビジネス交流プラザ10F ■ TEL 048(747)5550 FAX 048(747)5560
一部200円